

保護者アンケート報告

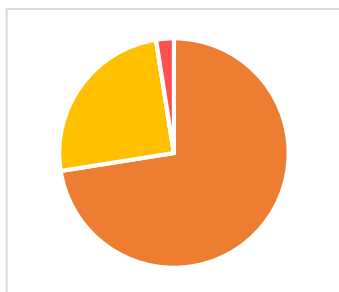
保護者の皆様には、“よりよい幼稚園づくり”のためのアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。ご提出いただきましたアンケートをまとめましたので、ご報告いたします。（保護者アンケート結果については、麹町幼稚園ホームページにも掲載いたします。）

皆様から承ったアンケート集計のデータから読み取れることを参考にさせていただき、今後の教育内容の充実・改善を図ってまいります。自由記述のご意見につきましては、同様の内容が複数重なるものを中心に1月の保護者会でご回答させていただきます。

なお、令和4年度の教育課程（「年間行事予定」を含む）については、3月の保護者会においてご説明いたします。

※アンケートの集計 園児数(12/1日現在) 85 提出数 80

Q1 子供たちは、様々なことに興味をもち、自分で考えて取り組んだり、挑戦したりしながら遊ぶことを楽しんでいると思いますか。

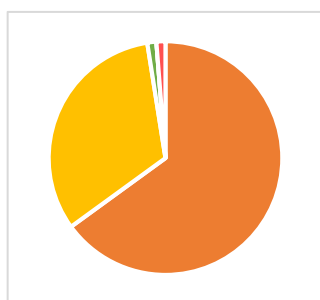


とてもそう思う		58
そう思う		20
あまり思わない		0
まったく思わない		0
判断できない		2

子供たちの興味や関心は生活の場の広がりや対人関係の広がりに伴い、様々な対象に向かって広がっていきます。その広がりの中で様々なものやことと出会い、活動を展開したり友達や教師と感動を共有したりすることによってさらに広げられ、高められていきます。また、興味や関心をもった対象と十分に関わり合うことは、思考力の基礎を培うことにもつながっていきます。

幼稚園では、子供が自ら「やってみたい」「次はこうしたい」という意欲をもち、遊びを通して経験を広げたり深めたりできるような環境の充実に努めています。

Q2 子供たちは、先生や友達と関わって遊ぶ中で、コミュニケーション能力の基礎が育まれていると思いますか。

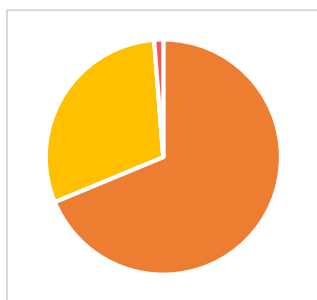


とてもそう思う		52
そう思う		26
あまり思わない		1
まったく思わない		0
判断できない		1

子供たちは、幼稚園で遊びや生活を共にする中で、自分の思いを動きや言葉で表したり、相手の思いを感じたり受け止めたりしています。そこでは、楽しさや面白さ、ときには自己主張のぶつかり合いや友達と折り合いを付ける体験を重ねています。その中で友達関係を深め、徐々に友達のもっているよさや力に気づき、共に生活を創る喜びを味わうようになっていきます。また、相手も自分も互いに違う主張や感情をもった存在であることが感じられるようになると、その相手も一緒に楽しく遊んだり生活したりできるよう、自分の気持ちを調整することの必要性にも気づき、自我の発達の基礎が築かれていきます。

幼稚園では、人と関わる力を豊かに育めるよう、このような経験の積み重ねを大切にし、今後も保育の充実を図ってまいります。

Q3 子供たちは、健康や園生活に必要な習慣を身に付け、安心して生活を進めていると思いますか。

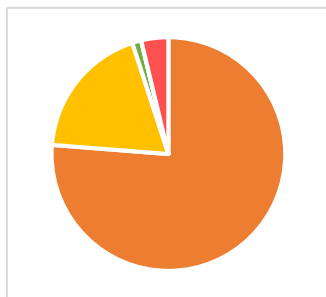


とてもそう思う		55
そう思う		24
あまり思わない		0
まったく思わない		0
判断できない		1

幼稚園での生活習慣の習得は、園生活における自信や安心感に大きくつながります。手洗い・身支度などの日常の習慣や、並ぶ・集まる・待つ・人の話を聞くなど集団生活に必要な習慣だけでなく、時間の流れを意識する、状況の変化を予測する、見通しをもって行動するなどの力も徐々に培われていきます。これは、5歳までに自然に身に付くものではなく、3歳児期からの生活の中で、必要な経験の積み重ねから育まれるものです。

こうして幼児期に育まれたものは、小学校生活において、時間割を含めた生活の流れの理解を元に見通しをもって行動したり、安全に気を付けて登下校したりする姿につながります。幼稚園では、子供がよりよい生活のために必要な習慣を、必要感をもって身に付けていかれるよう、発達に即した望ましい経験が得られる環境を整え、工夫しています。

Q4 幼稚園は、子供の理解に努めながら指導していると思いますか。

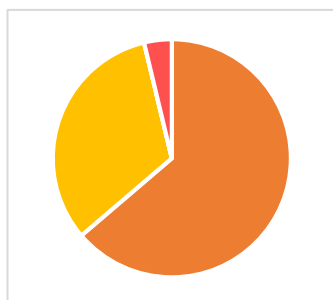


とてもそう思う		61
そう思う		15
あまり思わない		1
まったく思わない		0
判断できない		3

幼稚園では、子供と共に過ごしたり一日の生活を振り返ったりしながら、個々がどのような育ちの過程にあるか、様々な視点で子供の行動と内面の理解に努めています。一人一人を理解した関わりの中で信頼関係を育み、安心して自分らしさを発揮しながら主体的に活動し、多様な体験を重ねたり集団の中で個人の良さが生かされたりできるよう環境づくりを工夫し援助しています。

今後も保護者の方との連携のもと、子供の育ちを深く理解した保育を実践し、園生活がより豊かなものとなるよう努めてまいります。

Q5 教職員が連携して保育を実践していると思いますか。

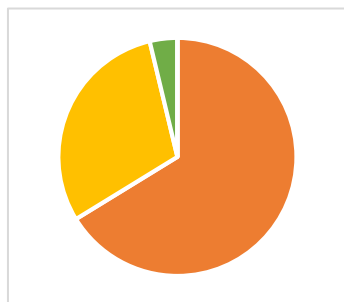


とてもそう思う		51
そう思う		26
あまり思わない		0
まったく思わない		0
判断できない		3

幼児一人一人の安心・安全な、且つ着実な育ちを保障できる幼稚園環境の充実は、教職員の連携体制が大きな基盤となります。教職員同士が日頃から連絡を密にすることで多様な幼児の興味や関心を多角的に捉え、教職員が相互に様々な幼児に関わり、幼稚園全体として適切な環境を構成することが可能となります。

また、一人一人の教職員が生き生きと日々の教育活動に取り組むような活気ある幼稚園づくりは、保護者の皆様にとっての大きな安心感や期待にもつながると考えます。引き続き、教職員同士が各々のもつ力を尊重して協力し合える開かれた協力体制を築きながら保育を展開し、教育の充実を図ってまいります。

Q6 保育室、園庭、校庭、体育館等の特徴や環境を生かし、体を動かして楽しむ経験が充実する工夫が行われていると思いますか。

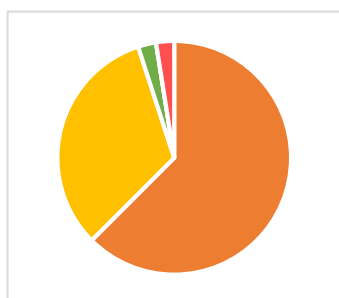


とてもそう思う		53
そう思う		24
あまり思わない		3
まったく思わない		0
判断できない		0

幼稚園では、朝の「元気もりもりタイム」や昼食後の校庭遊びなど、遊びや生活の中で楽しみながら十分に体を動かし、体力を培うとともに自分の体を大切にする意識を高め、健康な心と体の育成に努めています。

幼児期は、運動機能が急速に発達し、いろいろなことをやってみようとする時期です。そして幼児は、そのとき発達していく機能を自発的に使って活動する傾向があるといわれています。その機能を十分に使うことによって更に発達が促されていきます。幼稚園では、保育室、園庭、校庭、体育館など施設の特徴を生かして活用することで、遊びや生活の中で多様な動きを楽しく経験できるようにしています。その中で、子供たちが興味や能力などに応じた活動を主体的に展開し、自分から十分に体を動かす心地よさを味わえるよう活動内容や指導を工夫しています。

Q7 小学校との交流活動は、小学校への親しみの気持ちや就学への期待を育んでいると思いますか。(運動会練習の見学等も含みます)



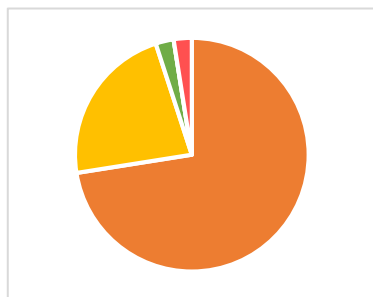
とてもそう思う		58
そう思う		18
あまり思わない		2
まったく思わない		0
判断できない		2

幼稚園では、年間計画に基づいた交流活動をはじめ、日々の生活の中での小学生との交流の機会を大切にしています。小学校との交流活動を通して、小学生に優しく関わってもらったり、小学生ならではの力を発揮する場面を見たりすることは、小学生へのあこがれの気持ちや、就学への期待を高めることにつながる貴重な体験となります。

幼稚園が、遊びを中心とした生活を通して体験を重ね、一人一人に応じた指導を行う場であることに對し、小学校は時間割に基づいた各教科学習です。この、幼稚園と小学校では異なる生活や教育方法の変化に、子供がスムーズに対応できるようにしていくことはとても重要です。

11月に行った保幼小合同研修会では、子供の発達を長期的な視点で捉え、幼小で互いの教育内容や指導方法の違い、または共通点について相互に理解を深めながら交流を実施しました。今後も、多様な人と関わる豊かな経験や、円滑な小学校生活への接続に向けた交流活動の内容を充実してまいります。

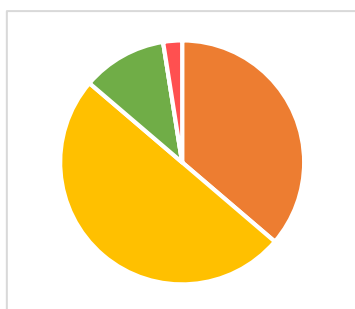
Q8 感染症対策を踏まえながら行う、お茶会・七夕・十五夜などの伝統行事や季節を味わう活動は、心に残る経験になっていると思いますか。



とてもそう思う		50
そう思う		26
あまり思わない		2
まったく思わない		0
判断できない		2

幼稚園では、日本古来の伝統行事や地域で親しまれている行事、季節の行事など、様々な文化に触れる機会を大切にしています。自国の伝統文化の価値を肌で実感する経験は、将来更に国際化が進む社会に生きる中で、自国の文化に誇りを持ち、自分の言葉で語れる基盤にもなると考えます。これは、生涯にわたる人格形成の基礎を培うという幼児教育の基本につながるものです。例えば幼稚園では、教師と一緒に飾りを作りながら七夕の由来を聞くなどして、次第にそのいわれやそこに込められている人々の願いなどにも興味や関心をもつことができるようにしています。さらに、幼稚園生活で親しんだ伝統的な遊びを家族や地域の人々と一緒に楽しむことなどにより、体験を広げることも大切です。引き続き、子供たちの豊かな心を育むことができるよう、季節行事や伝統文化に触れる取組を工夫して実施してまいります。

Q9 空箱などの廃材を遊びに使ったり、節電・節水、ごみの分別などを心掛けたりする経験は、リサイクルや資源を大切にする意識の芽生えを培っていると思いますか。

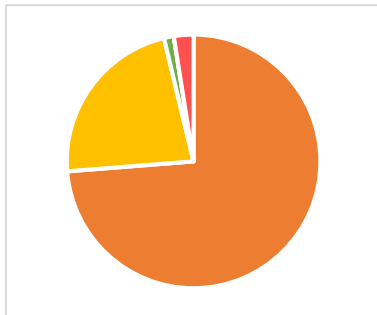


とてもそう思う		29
そう思う		40
あまり思わない		9
まったく思わない		0
判断できない		2

環境教育とは、自分たちと環境とのつながりを意識し、自分の立場でできることを実践する人を育てることです。その第一歩である幼児期に経験すべきことは、まず環境を考えた活動を身近なものとし「親しむ」ことが大切だと考えます。空き箱などの廃材を遊びに取り入れる経験を日常的に行い、親しむことで、必要なくなったものをすぐに捨てるのではなく工夫して生活に生かそうとする気持ちの育ちにもつながるようにしています。

世界的に環境問題への関心が高まる中、引き続き幼稚園でも、小さなことから一步でも貢献したり子供の意識を高めたりしていかれるよう取り組んでまいります。

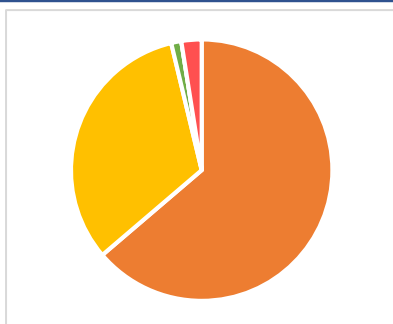
Q10 園庭の環境活用、栽培、飼育など自然や生き物に親しむことを通して、命の大切さや自然の恵みに気付くなど、豊かな心を育んでいると思いますか。



とてもそう思う		59
そう思う		18
あまり思わない		1
まったく思わない		0
判断できない		2

幼稚園では、子供たちが日常的に季節感を取り入れた生活を体験することを通して、四季の変化を感じたり、幼児なりに関心をもったりするように、園内の自然環境の整備に努めています。春の草花や木の芽、真夏の暑い日差し、風に舞い散る落ち葉や池の氷など、幼児は日々の生活の中で四季折々の季節を感じる場面に出会います。そして、自然のものをめぐる様々な出来事や事象に触れることを通して驚きや感動など心を揺り動かされたり、考えたり感じたりしています。その中で、自然の美しさや不思議さ、面白さ、また収穫体験から得る自然の恵みへの感謝の気持ちなど、子供自身が全身で感じ取る体験を多様に重ねることを大切にしています。併せて、ICTも活用して直接体験をさらに深め、興味関心、知識を広げられるよう工夫しています。

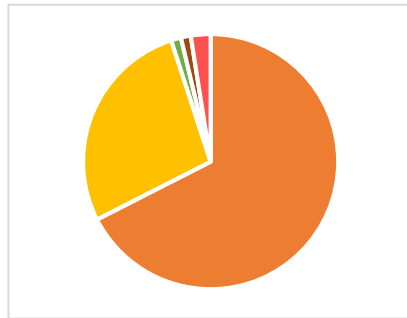
Q11 毎月の避難訓練や安全指導を通して、子供が自ら身を守ろうとする意識を培っていると思いますか。



とてもそう思う		51
そう思う		26
あまり思わない		1
まったく思わない		0
判断できない		2

幼稚園では、子供自身が安全について考え自ら身を守る意識や態度、習慣を身に付けていけるよう、様々な機会を通して日常的に指導を積み重ねています。交通安全の指導や避難訓練などについては、年間を見通し計画的に指導し、安全な交通の習慣や災害時の行動の仕方などについて理解できるようにしています。また園生活や遊びの中で、危険な遊び方や場所、遊具などについてその場で具体的に知らせたり、気付かせたりし、状況に応じた安全な行動について知らせています。積み重ねることで、次第に危険な場所や遊び方などに意識が向くようになり、望ましい行動の仕方を体験を通して身に付けていきます。

Q12 配布物や降園時の連絡、面談、ポートフォリオの掲示等から情報を得たり、わからないことは幼稚園に相談したりすることを通して、園の教育への関心や理解が深まっていますか。

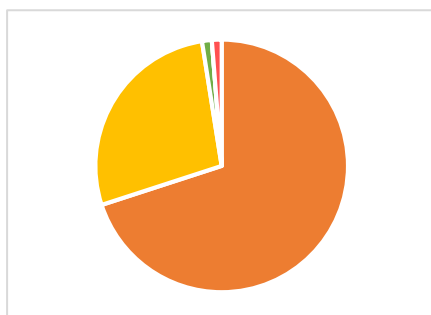


とてもそう思う		54
そう思う		22
あまり思わない		1
まったく思わない		1
判断できない		2

幼稚園は、子供たちがより豊かな園生活が送れるよう、家庭との連携を十分にとって、一人一人の望ましい発達を促す生活を実現していくことを目指しています。子供たちの生活は、幼稚園と家庭の生活に連続性が生まれることで、双方での経験がより豊かなものとなります。その手立てのひとつとして、今年度よりポートフォリオで子供の様子や成長の姿を伝える掲示を行っています。幼稚園での生活に理解を深めたり、園の教育に関心をもったり、掲示をきっかけに親子の会話を楽しんだりしていただけることを願っています。また、「すぐーる」の活用など、必要な情報を確実にお伝えできるよう工夫してまいります。

保護者の皆様におかれましては、園生活の様子や保育内容などについて気になること、ご心配なこと、また園に伝えておきたいことなどがありましたら、ご遠慮なくどうぞ幼稚園にご相談、ご連絡ください。

Q13 親子で園生活に期待をもったり、楽しんだりしていますか。



とてもそう思う		56
そう思う		22
あまり思わない		1
まったく思わない		0
判断できない		1

親子共に期待高まる楽しい園生活は、今回のアンケートに示された、問1~12までの内容が、確実に質が高く実践・実現されていくことにほかなりません。

子供たち一人一人にとって、生き生きと心と体を弾ませて楽しめる園生活の充実のために、今後ともご家庭との信頼関係を深めながら幼稚園の運営に当たってまいります。